

学内の分野横断的な活動の支援:「異分野融合研究形成支援プログラム」

研究力の強化と多様な人材の輩出に繋がる「学内共同研究の仕組みづくりや研究力強化に向けた取り組み」を支援する取組。



本事業のポイント

大阪大学の特徴を活かし、将来、世界を先導する可能性がある研究グループや、若手研究者による将来的に発展が期待できる研究グループ等の部局や分野横断的な活動を支援する取組。

支援対象経費は、国内外シンポジウム開催経費、会議費(学外者が参加する場合に限る)、旅費、事務局経費(人件費含む)等を対象とし、実際の研究費は対象としない。



取り組み実績と得られた成果

●取り組み実績

- 国際シンポジウムInternational Joint Conference on Information, Media and Engineering(IJCIM)をオンライン開催にて主催し、本プロジェクトの関連成果を5件発表した。
- ミューオンX線分析により、本学が所蔵する緒方洪庵の薬剤(開栓不能な鉛ガラスビンに封入されていて、化学分析出来ない状態)の成分特定に世界で初めて成功した。

●得られた成果

- 共同論文数44件、研究発表件数40件、競争的資金獲得8件(286,871千円)
- 論文「大気汚染重点地域からの脱出を支えた地域社会の対応と展望—中国広東省広州市における事例からの考察」が第8回日中友好岸関子賞優秀賞を受賞。
- ミューオンX線分析による緒方洪庵の薬剤成分の特定について、国際論文にまとめると共にプレスリリースを行い、新聞などで大きく取り上げられた。



類似プログラム(未来研究イニシアティブ、未来知創造プログラム、知の共創プログラム)のこれまでの展開等の例

- 日本学術振興会拠点形成事業「数理腫瘍学 国際研究ネットワークの構築」が採択され、米、仏、英の3カ国の拠点機関と協力して、国際研究を展開した。
- 大阪大学数理・データ科学教育研究センターが発足した。東京大学医科学研究所、新領域創成科学研究科と協定を締結した。
- 科学研究費補助金 新学術領域研究等、大型研究プロジェクトの採択。